

# 設立記念交流集会

## 開催報告

メインテーマ

「地域包括ケア時代の看護学教育と臨床実践の課題、そして求められる大学院のあり方」

日時: 2018年3月18日(日) 13:00~17:10

場所: 福岡県立大学5号館3階 5303実習室

### I FPUMN<sup>2</sup>設立記念セミナー

#### 1. ナースングネットワークの設立趣旨

看護学研究科ナースングネットワーク代表 増満 誠

#### 2. 来賓祝辞

学長・理事長  
看護学研究科長  
次期看護学研究科長

柴田洋三郎教授  
赤司千波教授  
尾形由起子教授



### ナースングネットワーク設立記念交流集会 祝辞

#### 理事長・学長挨拶 柴田洋三郎教授

本学の大学院では、グローバル化・ユニバーサル化が進む現代社会にあって、時代をリードし得る高度専門職業人の育成を行うことを使命としています。とりわけ看護学研究科では、福岡県民の健康と福祉に寄与する、専門看護師や助産師といった世界水準の高度実践看護師、教育者、研究者の育成に努めているところです。看護学研究科は平成19年度に開設し、今年度で丁度、10周年を迎え、72名の優秀な修了生を輩出しています。そのような記念すべき年に看護学研究科の在学生と修了生のナースングネットワークが開設されたことは、本学にとって願ってもない喜びです。今後、このネットワークの中で、在学生や修了生が知的・実践的な交流を通して、協力して地域社会の発展に貢献してくれることを期待しています。

#### 看護学部長兼看護学研究科長挨拶 赤司千波教授

福岡県立大学大学院看護学研究科在学生・修了生ナースング・ネットワーク設立の記念として、本日その記念講演ならびに実行・企画委員会を無事に開催されることを心からお祝いいいたします。

本研究科も今年で10周年を迎え、修了生計72名を輩出しています。修了生の皆さんはそれぞれ教育現場、保健医療福祉の臨床現場など、保健医療福祉関連の職場で学びを活かし地域貢献を行っています。

わが国の医療体制においては、超高齢社会の急速な進展に伴い、在宅療養の支援のニーズはますます高まり、対象が必要とするケア環境の整備が急務です。そのため、各専門職者がそれぞれの専門性を活かしかつ連携することの重要性が一層求められています。こうした現状において、本ネットワークの設立により、修了生と在学生の各々の連携の充実が図られ、そして本研究科の発展ならびに看護教育をはじめ保健医療福祉の質改善に貢献すること祈念いたします。

改めて、本日を迎えられたことに関して、本ネットワーク設立記念講演ならびに実行・企画委員の関係者の方々に深く感謝いたします。また、今後も本ネットワーク形成の活動に対し、より多くの修了生と在学生のご理解と参画されることを期待いたします。

最後に、本ネットワーク設立に関わった皆様のご健勝と本ネットワークのご発展をお祈りいたします。

#### 次期看護学研究科長挨拶 尾形由起子教授 (平成30年3月18日現在)

看護学研究科では、超高齢少子社会における諸課題に対し適切な看護が選択できる高度看護専門職者を育成しています。これからの看護職者は、地域内外、施設内外において他の職種と連携をとりつつ、地域住民の健康状況やケアの必要性を的確に判断し、適切なケアを提供することが必要です。日頃から臨床実践者と教育実践を行う同じ学び舎で学んだ者同志が仲間として集い、実践を科学する場を作ることは大変意義深いことであると思います。

今後、地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的な担い手となり活躍している、高度専門職業人としての看護職者や、研究者・教育者が在学生に対し、その姿をモデルとし見せることもとても大切なことであると考えます。

福岡県立大学大学院看護学研究科ナースングネットワークはこのようなことを実現するものとして発展していくことを願っています。

## II 講演

### テーマ 「群馬一丸で育てる地域完結型看護人材の育成 ～実践指導者を育てる履修証明プログラム～」

講師 群馬大学大学院保健学研究科地域看護学教授 佐藤由美先生



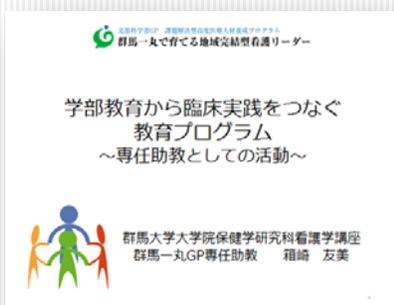
「一丸」というキーワードからみんなで振り返る・みんなで研修する「行動力」、リーダーを育てるというパッションとミッションを強く感じた講演でした。

## III 実践報告「地域包括ケア時代を先導する看護教育実践、臨床看護実践、看護研究」

### ◇看護教育実践 ①

#### テーマ「学部教育から臨床実践をつなぐ教育プログラム～専任助教としての活動～」

2015年 臨床看護学領域 助産学分野修了  
群馬大学大学院保健学研究科文部科学省GP 課題解決型高度医療人材養成プログラム  
「群馬一丸で育てる地域完結型看護リーダー」事業  
専任助教 箱崎友美



#### 発表内容

1. 群馬一丸GPの概要
2. 学部教育の改革
3. 附属病院の改革
4. 専任助教として



### ◇講演と看護教育実践 ①を終えて質疑応答を行いました。



以下の課題が明らかになり、  
・教育の方法論  
・情報の取捨選択  
・自立した運営  
・金銭的課題  
・PDCAサイクル  
県大ブランドの誇りを胸に  
ネットワークを発展させて  
いく必要性を感じました。

◇看護教育実践②

テーマ「対象理解のコミュニケーション力教育の実践～精神科病院のケア力向上プロジェクトも含めて～」  
2010年臨床看護学領域精神看護学分野修了  
福岡県立大学看護学部 講師 増満 誠



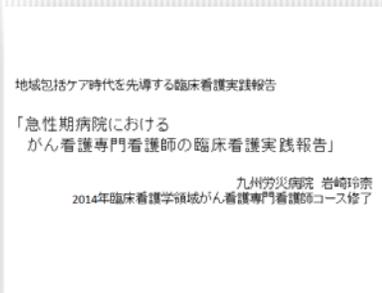
報告内容

1. 大学院での学びをどう「つな・つむ」いでいるか
2. 対象理解のコミュニケーション力教育の実践
3. 精神科病院のケア力向上プロジェクト
4. まとめ



◇臨床看護実践 ①

テーマ「急性期病院におけるがん看護専門看護師の臨床看護実践報告」  
2014年臨床看護学領域がん看護専門看護師コース修了  
九州労災病院 岩崎玲奈



報告内容

1. 急性期病院での臨床看護実践
2. 臨床看護実践における看護研究



◇臨床看護実践 ②

テーマ「実践の学びから夢の実現へ」  
2015年臨床看護学領域 精神看護学分野 精神看護専門看護師コース修了  
訪問看護ステーションちはやACT 管理者兼精神看護専門看護師 山本智之



報告内容

1. 実践からの学び
2. ACTについて
3. 精神医療の現状から夢の第一歩へ



◇看護研究

テーマ「私のこれまでの研究とこれからの研究」

2014年精神看護専門看護師コース修了  
福岡大学医学部看護学科 池田 智



報告内容

1. 私のこれまでの研究とこれからの研究



大学院を修了してから今日までの、それぞれの実践と思いの丈を報告してもらいました。

## Ⅳ 交流集会（総合討論）

5人の修了生の実践報告を終えて総合討論を行いました。

### ◇それぞれの発表を聞いての感想と質問

専門看護師間や教育者間など、感想や質問がされる中で、修了生の活躍を実感するとともに、同じような境遇にあることで修了年を超えた縦のつながりも実感できました。



### ◇参加者からの質問

専門看護師として「価値の調整（思いや四肢の強さ）」への工夫、組織マネジメントの際の工夫、研究成果の詳細など活発な質疑応答が行われました。



## Ⅴ 講評

◇赤司千波研究科長より講評をいただきました。それぞれの実践を評価していただき明日からの活力になるとともに、新たな目標を持つことができました。



### 福岡県立大学大学院看護学研究科 ナーシングネットワーク (FPUMN<sup>2</sup>)

#### 〈 目的 〉

社会のリーダーとしての自覚  
や使命感を培い、社会に還元する  
こと、具体的には福岡県の保健医  
療福祉の学術的な発展と臨床実践、  
教育実践の質の向上に寄与するこ  
と、そして修了生と在学生の親睦  
を図ること。

## 設立記念交流集会を終えて

今回、修了生や在学生同士だけではなく、地域の専門職者の参加も頂き、地域とのつながりを実感することもできました。

地域の方々にも私たちの活動を知っていただくことで、大学院への進学や、知りたい・分かってほしいから始まる学びのネットワーク、地域と共に歩む顔の見える安心のネットワークにもなるのではないのでしょうか。そして最終的には対象にも還元されていくものだと考えております。

今後もそのようなネットワークづくりとともに発信や交流の場を作っていきたいと思っております。

今後ともご理解ご協力、そしてご指導ご鞭撻をよろしく申し上げます。